

横浜市永谷地区センター 指定管理者選定委員会（第2回委員会）議事録要旨	
開催日時	平成27年8月4日（火） 13時00分から16時まで
開催場所	区役所別棟301会議室
出席者	藤崎委員長（横浜市立大学准教授） 井出委員（永谷連合町内会副会長） 小野委員（港南区「街の先生」の会会長） 嶋田委員（港南区スポーツ推進委員連絡協議会会長） 新委員（東京地方税理士会横浜南支部税理士） ※肩書は、委嘱当時のものになります。
傍聴者	なし
議題	横浜市永谷地区センターの指定管理者の選定について 1 面接審査 2 審議
面接審査 及び 審議	1 面接審査 1 団体あたり、10分間のプレゼンテーション及び15分程度の質疑応答を行った。団体のプレゼンテーションの概要は次のとおり。 <三菱地所コミュニティ株式会社> ・区民に一番近い公共施設として「ふれあいのコミュニティ 永谷地区センター」を目指す。 ・利用率の低い料理室の割引制度を導入し、日曜日・祝日の開館時間を延長。 ・利用者の意見を事業に反映させる仕組みを確立し、ニーズを把握し運営に反映。 ・スポーツ用品のレンタルや図書貸し出し冊数の増、メルマガの発信によりサービスの向上を図る。 ・技術のある職員等、職員自らが講師となって事業を開催。 <株式会社有隣堂> ・地区センターを「ふるさと港南」をはぐくむ「地域の力を高める場」として運営。 ・高齢化率が高く交通アクセスが限られた地域の特性を理解し、地域ニーズを運営に反映させた事業展開。 ・高齢化社会対応として、認知症研修を導入し、認知症の方へ配慮して対応。 ・地区センターまつりや30周年イベントの開催により地域との一体感を構築するとともに、駐車スペースの拡大やインターネットの予約抽選システムの導入により、利用者の利便性を計り、利用促進に努める。 ・託児サービス付の事業の企画や、最新のデジタルサイネージの設置により利用者サービスの向上に取り組む。 ・書店ノウハウ・民間ノウハウを発揮し、ビブリオバトル等書店ならではの企画を行う。 <一般社団法人 こうなん区民利用施設協会> ・高齢化が進んでいる地域の特性を理解し、ニーズに見合った事業展開を行い、「賑わいある」永谷地区センターを目指す。 ・スタッフの交代には15分の引き継ぎ時間を設け、伝達事項や共有すべき事項に漏れをなくす。 ・メールマガジンによる情報発信やHPによるイベント等の紹介により自主事業を積極的にPRするとともに、和室の改善等を行い利用促進につなげる。 ・通信カラオケの導入等により、利用者サービスの向上に取り組む。 ・地域ニーズに合致し、高品質かつ魅力ある多彩な自主事業を展開。

2 審議

横浜市永谷地区センターの指定管理者を選定するにあたり、第1回選定委員会で定めた評価基準項目に則り評価を行った結果、株式会社有隣堂を指定候補者として選定し、一般社団法人こうなん区民利用施設協会を次点候補者とした。

<委員の主な意見>

(1) 三菱地所コミュニティ株式会社

- ・自信を持って新規に参入しようとする意欲は良く伝わってきたが、提案内容に一般論が多く具体性に欠ける。
- ・大企業の傘下なのでバックアップの安心感がある。
- ・数ある地区センターの中から、この永谷地区センターに応募した理由が、明確には伝わらなかった。
- ・日曜や祭日、午後帯の時間延長は評価できる。しかし1回限りの自主事業が多く利用者の定着につながらないように思われる。また自主事業の回数が多い分一般利用が減る事も懸念される。地域ニーズの把握をもっと深めて欲しかった。
- ・収支予算書の公租公課に、消費税として高額が計上されていることには疑問がある。
- ・財務状況は良好で問題はない。

(2) 株式会社有隣堂

- ・シニアや子育て世代など地域ニーズに対応できる継続講座が多いのは評価できる。ビブリオバトルなど学校を巻き込んでの事業企画は評価できる。
- ・駐車場を4台分増やすなど利用者目線で考えている点が良い。立地は不利だが駐車台数を増やすことによって夜間利用に結びつくことも期待したい。
- ・予算の組立てが明瞭であり、提案内容も背景が見えて確実性がある。
- ・着実なアイデア提示が強く、意欲的に取り組んでおり、書店の力を生かした強みが発揮できる。アウトリーチも未知数で期待したい。
- ・提案書に「経理規定に則った処理を徹底する」と明示している点は評価できる。
- ・経費については、人件費が抑え目なのが従業員のモチベーションの低下につながらないか不安はある。
- ・人件費の詳細は、本部経費の事務経費がもう少し明瞭だと把握しやすくなると思う。
- ・利用料などが細かく積算されている。
- ・財務状況は良好で問題はない。

(3) 一般社団法人こうなん区民利用施設協会

- ・区内の複数の施設を運営しており、ネットワークを生かした提案は強み。20年の公共施設管理運営の実績があることも信頼できる。
- ・多くの施設を運営しているのでスケールメリットがある。また、地域住民との結びつきの強さはニーズ把握での強みになる。
- ・地域ニーズに合った自主事業を提案できているのか疑問が残る。リサーチ不足を感じる。子ども及び年配者向けの講座も希薄である。
- ・図書配送の配送業者への委託や、通信カラオケ導入で利用者増を図るなど提案がやや安易に感じる。業者を介するメリットはあるが、協会としての意気込みを見せてもらいたかった。
- ・財務状況については問題のない法人であるが、財務書類の作成管理体制に課題がある。

審議結果	・株式会社有隣堂を横浜市永谷地区センター指定管理者の指定候補者とする（628点/750点）。 ・一般社団法人こうなん区民利用施設協会を次点候補者とする（582点/725点）。
特記事項	